



クリティカルシンキング 実践ワークシート

客観的・多角的な視点から課題の「本質」を見極める

目の前の情報を無条件に受け入れるのではなく、根拠や前提を確認しながら妥当な結論を導くためのワークシートです。日々の業務や課題解決にご活用ください。

STEP 1 目的を明確にする

「何のために考えるのか?」「最終的にどのような結論や判断を出したいのか」を明確にしましょう。

(例) 新サービスの収益化のために、「ターゲット層の新規会員を1ヶ月で 100 人獲得」をゴールとする

STEP 2 事実と意見を分けて整理する

手元にある情報を、客観的な「事実」と、個人の「意見・推測」に切り分けましょう。

事実（データ、一次情報など）

(例) ・トップから入力フォームへの遷移率は5%

意見（感情、推測、見解など）

(例) ・入力フォームのデザインが古くて信頼されていない

STEP 3 前提や思い込みを疑う

「情報や意見の『前提』となっているものは何か?」「本当に『前提』は正しいのか?」「他の見方（他者の視点など）はできないのか?」と問い直してみましょう。

(例) 会員登録数が伸びない原因は入力フォームにあると考えていたが、トップからの遷移率にも原因がありそう

STEP 4

課題の本質を見極める

なぜその問題が起きているのでしょうか。「なぜ？」を繰り返して背景を掘り下げ、根本原因を探りましょう。

(例) トップページの変移率が低いのは、ボタンがクリックされにくい

- ➡ ターゲットの悩みとページの訴求内容がズレている
- ➡ 本質的な原因は、ページの訴求内容を自分向けだと感じてもらえていないこと

まずは考えられる原因・背景を書き出しましょう



問題の原因・背景を掘り下げてみましょう



問題の原因・背景をさらに掘り下げてみましょう



問題の本質的な原因をまとめましょう

STEP 5

課題解決を検討し、行動につなげる

本質的な課題に対して、どのような解決策が考えられますか？

具体的な行動ステップ（いつまでに・何をするか）を書き出しましょう。

(例) 訴求メッセージを修正し、ターゲット向けの導線を整えて A/B テストを実施する

☑ 実践時の注意点チェックリスト

- ☐ 相手への「批判」や「粗探し」担っていませんか？（異なる視点から検討する姿勢を持つ）
- ☐ 相手の感情や状況にも配慮できてますか？（正論だけでなく共感も意識する）
- ☐ 理由を詰め込み過ぎず、結論からわかりやすく説明できますか？
- ☐ 考えすぎて判断が遅れていませんか？（いつまでに決めるか期限を設ける）

